



Cisco Secure ACS to Cisco ISE Migration Tool の使用方法

この章では、Cisco Secure ACS to Cisco ISE Migration Tool を使用して、Cisco Secure ACS 5.3 のデータを Cisco ISE Release 1.2 アプライアンスにエクスポートおよびインポートする方法について説明します。

この章では、次の事項について説明します。

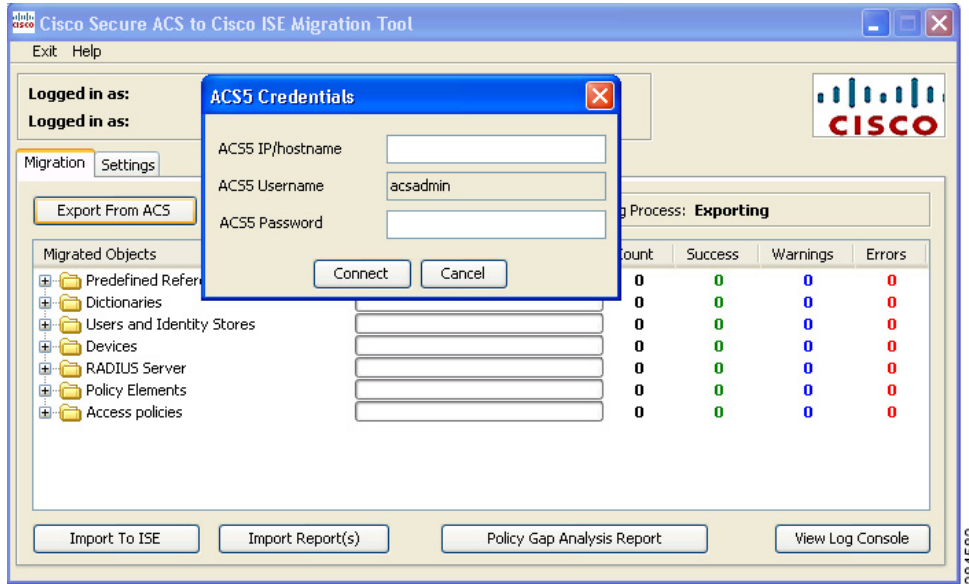
- 「Cisco Secure ACS データをエクスポートおよびインポートするための移行ツールの使用方法」 (P.5-1)
- 「Cisco ISE に移行されたデータの確認」 (P.5-8)

Cisco Secure ACS データをエクスポートおよびインポートするための移行ツールの使用方法

移行ツールを開始した後で、データのエクスポート元である Cisco Secure ACS Release 5.3 システムへログインします。移行ツールの使用を開始するには、以下の手順を完了します。

- ステップ 1** [Cisco Secure ACS to Cisco ISE Migration Tool] ウィンドウで [設定 (Settings)] をクリックして、移行に使用できるデータ オブジェクトのリストを表示します。
- ステップ 2** (任意) データの移行を実行するために、依存関係処理を設定する必要はありません。従属データがない場合は、エクスポートするデータ オブジェクトのチェック ボックスをオンにして、[保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 3** [Cisco Secure ACS to Cisco ISE Migration Tool] ウィンドウで [移行 (Migration)] をクリックし、[ACS からのエクスポート (Export from ACS)] をクリックします。
- ステップ 4** [ACS5 クレデンシャル (ACS5 Credential)] ウィンドウに Cisco Secure ACS Release 5.3 システムの IP アドレス (またはホスト名) とパスワードを入力して [接続 (Connect)] をクリックします。

図 5-1 Cisco Secure ACS への接続



ステップ 5 [Cisco Secure ACS to Cisco ISE Migration Tool] ウィンドウで移行プロセスをモニタします。ウィンドウには、正常にエクスポートされた現在のオブジェクト数、およびデータの移行プロセスの開始後警告やエラーの原因となったオブジェクトが表示されます。

図 5-2 Cisco Secure ACS オブジェクトのエクスポート

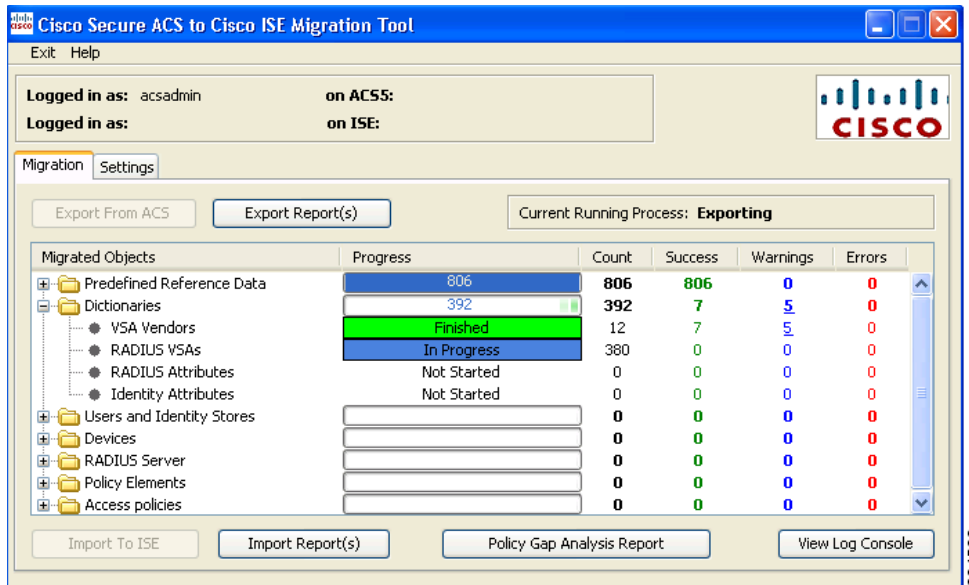
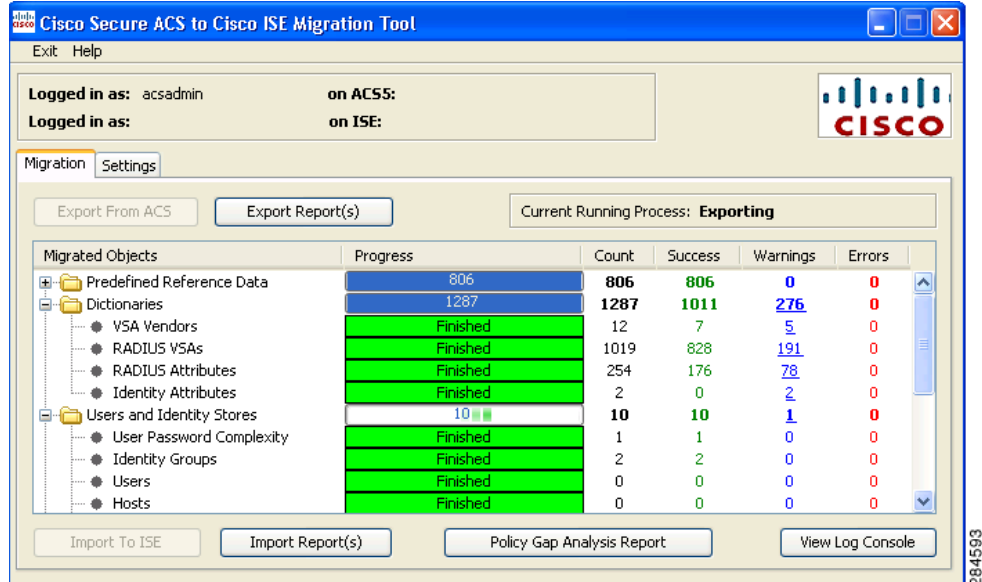


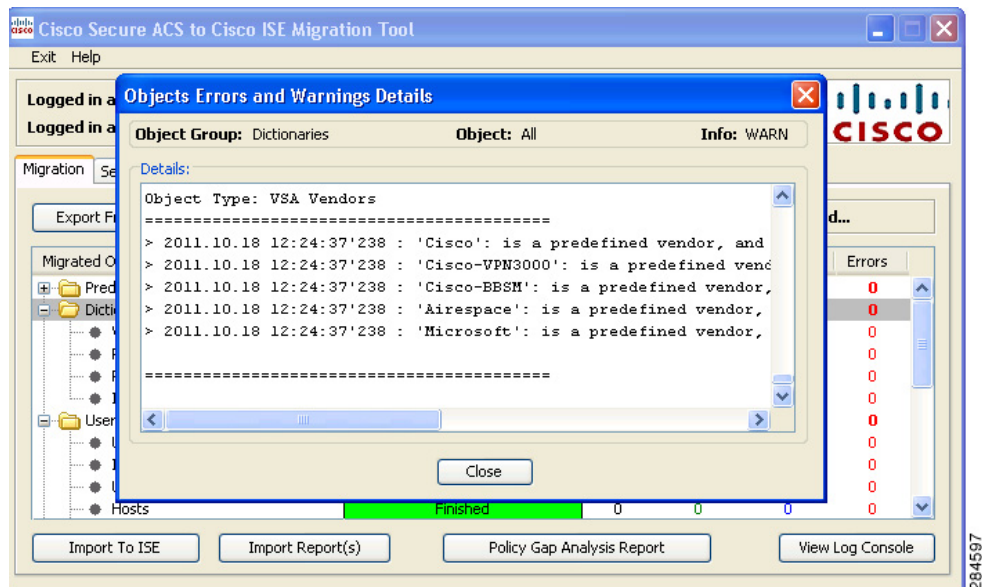
図 5-3 Cisco Secure ACS オブジェクトのエクスポートの終了



ステップ 6 エクスポート プロセスで発生した警告またはエラーについて詳しい情報を取得するには、[移動 (Migrations)] タブの [警告 (Warnings)] または [エラー (Errors)] カラムで下線の付いた数字をクリックします。

[オブジェクト エラーと警告の詳細 (Object Errors and Warnings Details)] ウィンドウに、エクスポート中に発生した警告またはエラーの結果が表示されます。つまり、警告またはエラーのオブジェクトグループ、タイプ、および日時が表示されます。

図 5-4 オブジェクト エラーと警告の詳細の表示

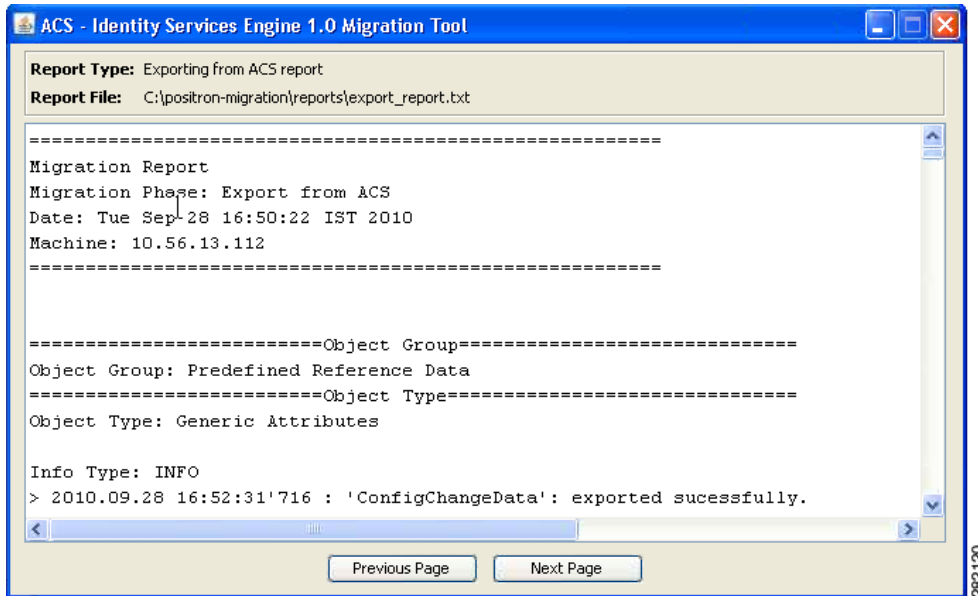


ステップ 7 スクロールして、選択したオブジェクトのエラーの詳細を表示し、[閉じる (Close)] をクリックしてします。

ステップ 8 データ エクスポート プロセスが完了したら、[Cisco Secure ACS to Cisco ISE Migration Tool] ウィンドウに、エクスポートが終了したときのエクスポートのステータスが表示されます。

ステップ 9 エクスポートされたデータの完全なレポートを表示するには、[エクスポート レポート (Export Report(s))] をクリックします。

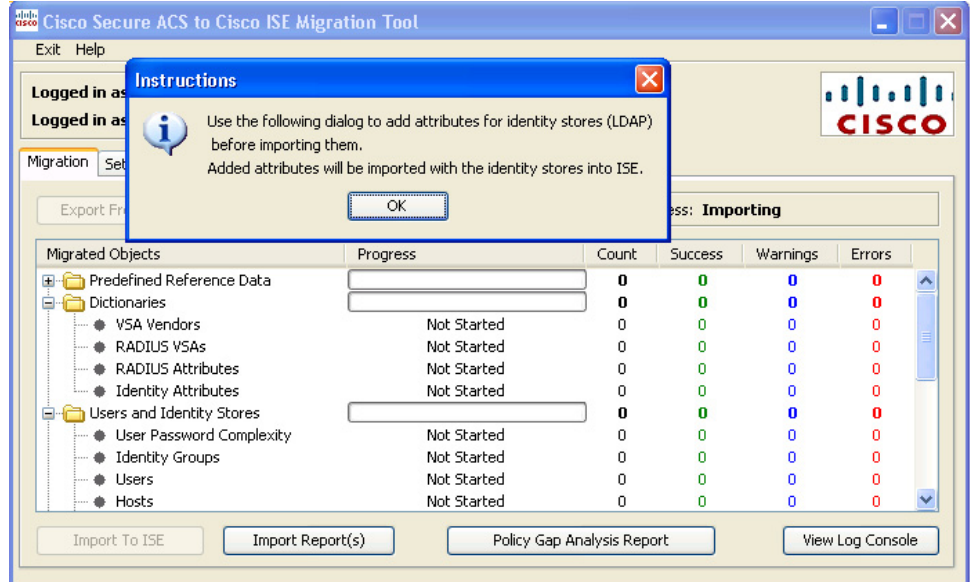
各エクスポート レポートには、ヘッダー情報、および処理のタイプ、日時、およびシステムの IP アドレスまたはホスト名が含まれています。各オブジェクト グループは、タイプおよび関連情報を詳しく説明します。レポートの最後には、開始と終了の日時、および処理の期間のサマリーが付随しています。



ステップ 10 Cisco ISE にデータのインポートを開始するには、[Cisco Secure ACS to Cisco ISE Migration Tool] ウィンドウで [ISE へのインポート (Import to ISE)] をクリックします。

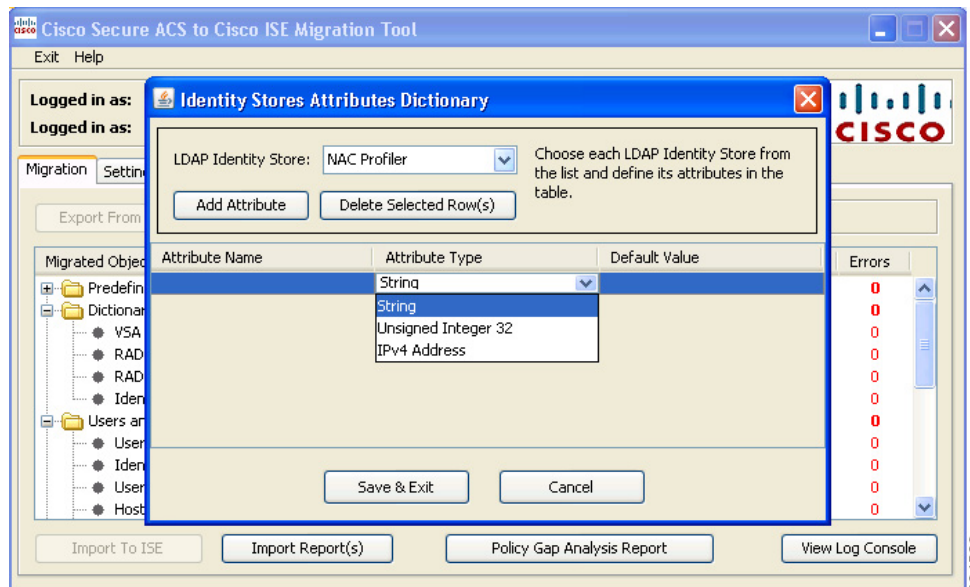
ステップ 11 データを Cisco ISE へインポートする前に、LDAP ID ストアに属性を追加するようプロンプトが表示されたら、[OK] をクリックします。

図 5-5 ID ストアへの属性の追加



ステップ 12 [LDAP ID ストア (LDAP Identity Store)] ドロップダウン リストで、属性を追加する ID ストアを選択し、[属性の追加 (Add Attribute)] をクリックします。

図 5-6 ID ストア属性ディクショナリ



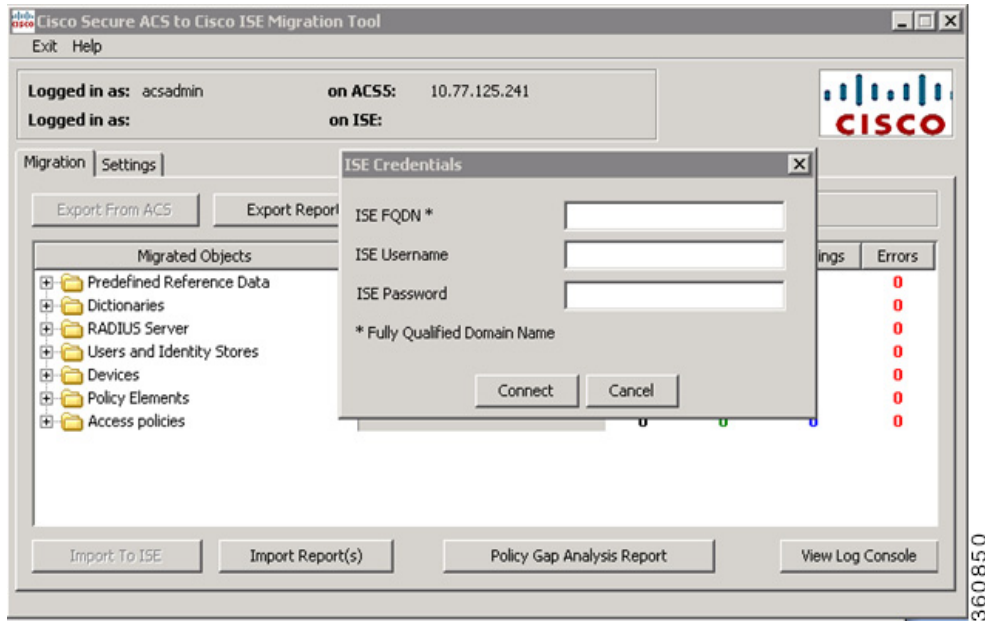
ステップ 13 [属性名 (Attribute Name)] フィールドに名前を入力し、[属性タイプ (Attribute Type)] ドロップダウン リストから属性タイプを選択します。[デフォルト値 (Default Value)] フィールドに値を入力して [保存して終了 (Save & Exit)] をクリックします。

ステップ 14 属性の追加が終了したら、[ISE へのインポート (Import To ISE)] をクリックします。

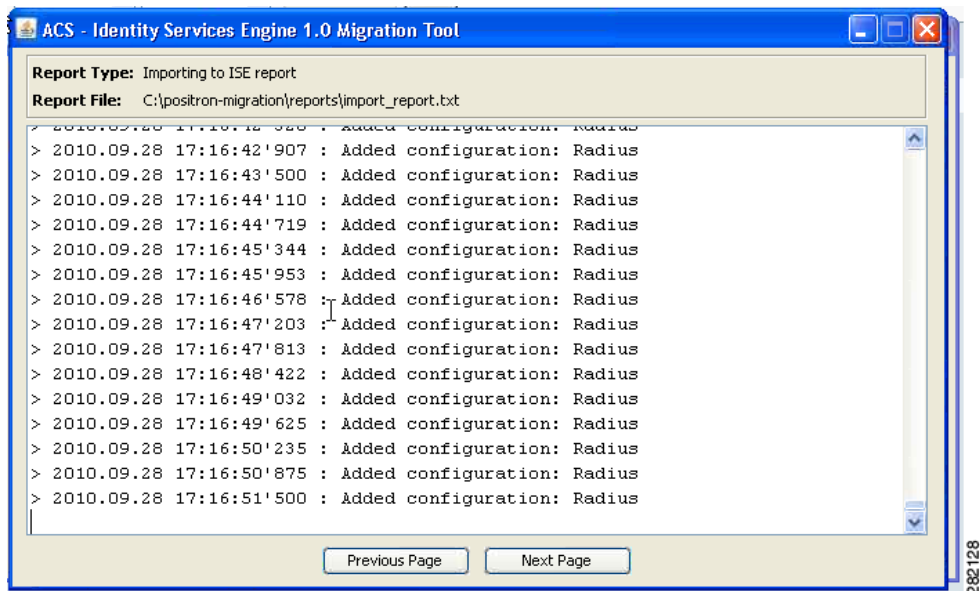
ステップ 15 [ISE クレデンシヤル (ISE Credentials)] ウィンドウに、Cisco ISE の完全修飾ドメイン名 (FQDN)、ユーザ名、およびパスワードを入力し、[接続 (Connect)] をクリックします。移行ツールは FQDN をチェックし、SSL 証明書に書き込まれた FQDN と一致することを確認します。

データ インポート プロセスが完了したら、[Cisco Secure ACS to Cisco ISE Migration Tool] ウィンドウに、インポートが終了したときのインポートのステータスが表示されます。

図 5-7 Cisco ISE への接続

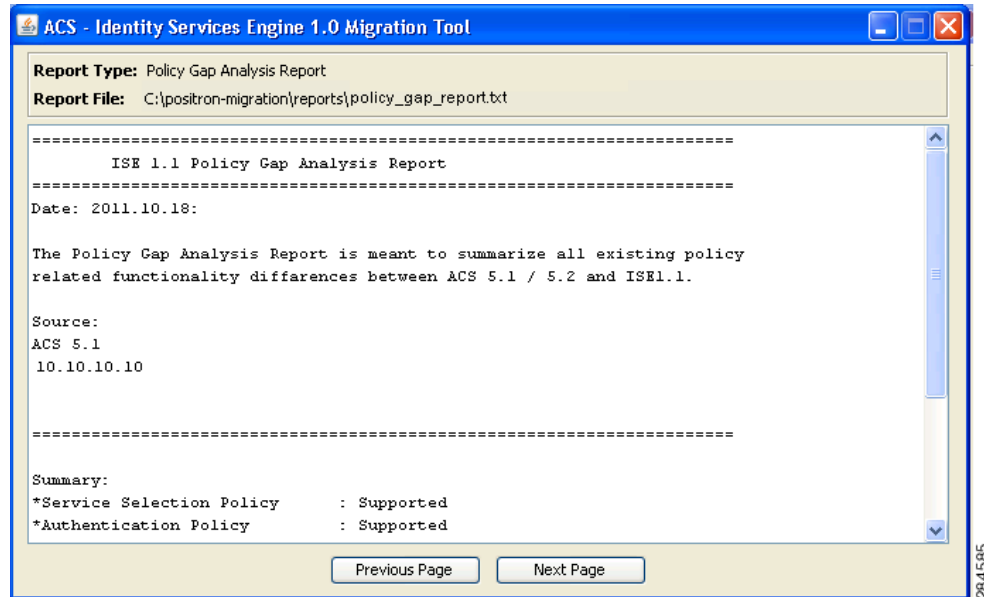


ステップ 16 インポートされたデータの完全なレポートを表示するには、[インポート レポート (Import Report(s)] をクリックします。



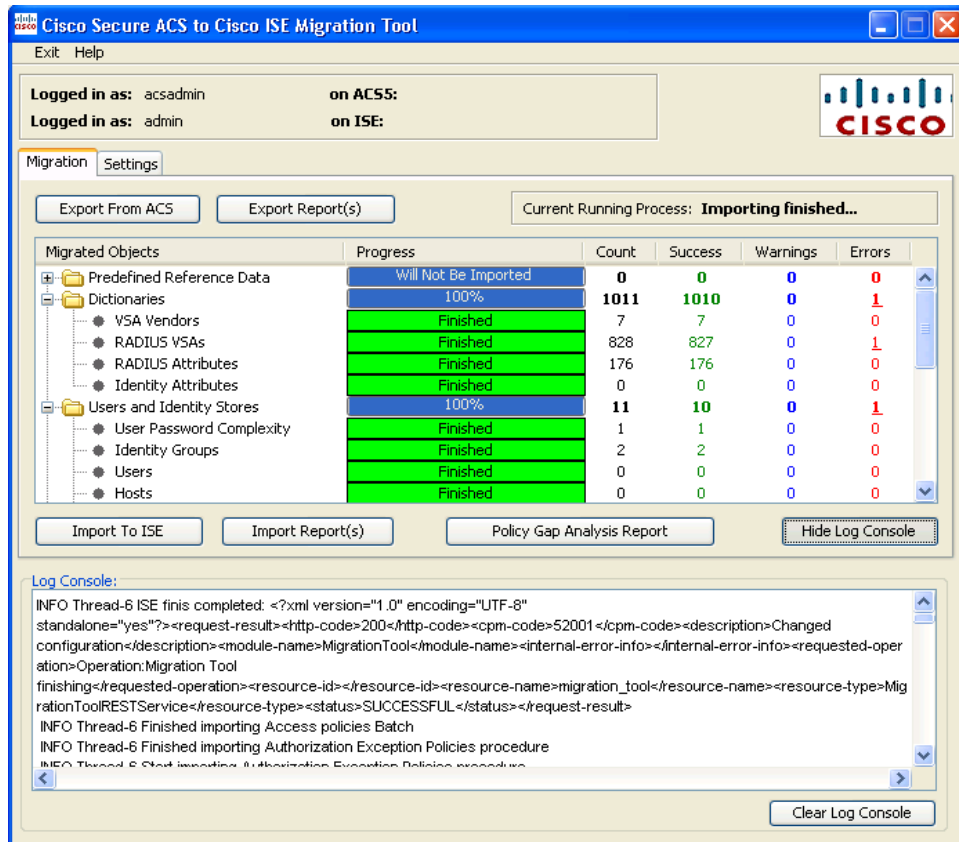
- ステップ 17** インポートプロセスで発生した警告またはエラーについて詳しい情報を取得するには、[移動 (Migrations)] タブの [警告 (Warnings)] または [エラー (Errors)] カラムで下線の付いた数字をクリックします。ステップ 6 を参照してください。
- ステップ 18** Cisco Secure ACS と Cisco ISE 間のポリシー ギャップを分析するには、[ポリシー ギャップ分析レポート (Policy Gap Analysis Report)] をクリックします。

図 5-8 ポリシー ギャップ分析レポート



- ステップ 19** [ログ コンソールの表示 (View Log Console)] をクリックすると、いつでもエクスポートまたはインポート処理のリアルタイム ビューを表示できます。

図 5-9 ログ コンソールの表示



Cisco ISE に移行されたデータの確認

Cisco ISE にログインし、さまざまな Cisco Secure ACS オブジェクトが Cisco ISE に移行されたことを確認できます。